

事務事業評価一覧(課別)

令和6年度

教育部国分図書館 (単位:千円)

事務事業名 計:	決算額	改善方向性		シートNo.
	89,578	コスト	成果	
2437 図書館運営事業	82,669	↑	↑	423-01
2438 移動図書館運営事業	6,776	↑	↑	423-02
2440 図書館読書推進事業	133	↑	↑	423-03

1. 基本情報								
事務事業名		2437 ー 図書館運営事業						
政策名		4. はぐみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)			所属		国分図書館	
施策名		2. 多様な学びを支援する社会教育の充実						
基本事業名		3. 多様な学びを支援する学習環境の充実			予	会計	01	一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)		①市民の多様化・高度化する学習ニーズへの対応や、市民が必要としている学習情報の提供に努めます。 ②機能が充実した図書館等の周知・広報による利用促進や、幅広い年代層・学習ニーズに対応した講座の充実に努めます。 ③社会教育施設の修繕等を通じ、市民が安全・安心に利用できる学習環境の整備に努めます。			算 科 目	款	10	教育費
						項	06	社会教育費
						目	08	図書館費
					事業期間		昭和33年度～	
基本事業の対象・意図		対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		図書館法、霧島市立図書館の設置及び管理に関する条例、施行規則
		①②③市民		①②③ニーズに応じて学ぶことができる		関連計画		霧島市教育振興基本計画、霧島市子ども読書活動推進計画

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>							
市立図書館・図書室の適切な管理運営を行う。 【施設の概要】 ・図書館2か所(国分図書館、隼人図書館) ・図書室5か所(溝辺図書室、横川図書室、牧園図書室、霧島図書室、福山図書室)							

対象(誰に、何を対象にしているのか)		対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R5(実績)	R6(見込)	R6(実績)	R7(見込)
ア	市民	人口	人	122,442	123,101	121,379	122,830
イ	市民	人口	人	122,442	121,379	123,101	122,830
ウ	市民	人口	人	122,442	123,101	121,379	122,830
意図(対象をどうしたいのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R5(実績)	R6(目標)	R6(実績)	R7(目標)
ア	興味がある本を読むことができる	貸出者数(移動図書館を除く)	人	98,763	98,000	100,075	100,000
イ	興味がある本を読むことができる	貸出冊数(移動図書館を除く)	冊	329,486	335,000	329,300	330,000
ウ	レファレンスサービスを利用できる	レファレンスサービスの利用件数	件	962	1,000	1,724	1,800

3. 事業費推移		R5(決算)	R6(決算)	R7(予算)	4. 令和6年度の実績・成果
事業費(千円)		67,571	82,669	83,181	・各図書館(室)において、蔵書構成を考慮しながら図書資料等の収集、整理、提供等を行った。 入館者数(R5/228,558人→R6/246,640人)貸出者数(98,763人→100,075人)貸出冊数(329,486冊→329,300冊) ・令和4年度まで2図書館蔵書しかインターネットで検索・予約できなかったが、令和5年度から5図書室の蔵書もインターネットで検索・予約できるようになったことを周知した。 (窓口予約R5/5,067冊→R6/5,057冊、インターネット予約14,190冊→15,226冊、計19,257冊→20,283冊) ・未返却本の督促を、早めに実施したことにより、未返却者が減少した。 ・情報が古くなった図書等の整理を行った。(除籍冊数R5/10,009冊→R6/10,830冊) ・既存の国分市、溝辺町の郷土誌をデジタル化し、市のホームページで公開した。
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	50	1,259	48	
	一般財源	67,521	81,410	83,133	

5. 振り返り<SEE (check)>							
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか				結びついている	
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か				実施すべき又は実施しなければならない事業	
	③	廃止・休止の影響はあるか				影響がある	
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか				向上する余地はある	
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか				***	
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか				***	
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか				***	

6. 評価結果＜(Action-PLAN)＞		
(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和7年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	↑ 拡充	・図書の除籍を進め、閉架書庫を整理し、併せて来館者がより利用しやすい開架書架とするため年次的に取り組む。 ・インターネット予約の周知に努め、更なる活用促進を図る。
② コスト(予算)の方向性	↑ 拡充	・既存の郷土誌をデジタル化し、市ホームページで公開する。霧島市史を編さんし、令和12年度を目途に発行する。 ・「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律(読書バリアフリー法)」に基づくコンテンツ収集を検討する。 ・外国人住民の国籍傾向を調査し、多言語の図書の整備を進める。 ・図書館運営のあり方について、検討を始める。

1. 基本情報								
事務事業名		2438 ー 移動図書館運営事業						
政策名		4. はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)		所属		国分図書館		
施策名		2. 多様な学びを支援する社会教育の充実						
基本事業名		3. 多様な学びを支援する学習環境の充実		予 算		01	一般会計	
基本事業の内容 (総合計画より)	①市民の多様化・高度化する学習ニーズへの対応や、市民が必要としている学習情報の提供に努めます。 ②機能が充実した図書館等の周知・広報による利用促進や、幅広い年代層・学習ニーズに対応した講座の充実に努めます。 ③社会教育施設の修繕等を通じ、市民が安全・安心に利用できる学習環境の整備に努めます。			科 目	10	教育費		
				項 目	06	社会教育費		
				目 目	08	図書館費		
				事業期間		昭和43年度～		
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		図書館法、霧島市立図書館の設置及び管理に関する条例	
	①②③市民		①②③ニーズに応じて学ぶことができる		関連計画		霧島市教育振興基本計画、霧島市子ども読書活動推進計画	

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>								
移動図書館の適切な管理運営を行う。 【移動図書館車の概要】 ・国分 大型1台、小型1台 巡回40箇所、配本18箇所 ・隼人 中型1台 巡回34箇所、配本10箇所								
対象(誰に、何を対象にしているのか)		対象指標(対象の大きさを表す指標)		単位	R5(実績)	R6(見込)	R6(実績)	R7(見込)
ア	市民	人口		人	122,442	123,101	121,379	122,830
イ	市民	人口		人	122,442	121,379	123,101	122,830
ウ					0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位	R5(実績)	R6(目標)	R6(実績)	R7(目標)
ア	移動図書館で興味がある本を借りることができる	貸出者数(移動図書館分のみ)		人	6,357	6,500	5,540	5,500
イ	移動図書館で興味がある本を借りることができる	貸出冊数(移動図書館分のみ)		冊	42,966	43,000	40,548	41,000
ウ					0	0	0	0

3. 事業費推移		R5(決算)	R6(決算)	R7(予算)	4. 令和6年度の実績・成果			
事業費(千円)		7,045	6,776	7,116	・巡回場所を見直し(国分6減、隼人増減なし)、しろやま号で40箇所、はやとすずかけ号で34箇所、計74箇所巡回した。 ・小学校への巡回は、小規模校を中心に市内全体で実施し、読書推進につながった。 ・移動図書館用の本の充実整備を進めた。 ・利用者からのリクエスト(読みたい本)の要望に応えるサービス等、知りたい情報・求めている本の提供を行い、利用者の利便性向上につながった。 ・Instagramで運行状況の広報を行った。			
財源内訳	国庫支出金	0	0	0				
	県支出金	0	0	0				
	地方債	0	0	0				
	その他	0	0	0				
一般財源		7,045	6,776	7,116				

5. 振り返り<SEE (check)>			
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はある
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	***
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	***
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	***

6. 評価結果<(Action-PLAN)>		
(1)今後の事務事業の方向性		(2)令和7年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	↑ 拡充	・移動図書館の利便性を活かした、巡回場所・コースの計画的な見直しを行う。 ・HPやInstagram、広報等を利用し、巡回場所について、広く周知する。 ・身近な図書館として、市民の多様なリクエスト(読みたい本)等に応えられるように改善していく。
② コスト(予算)の方向性	↑ 拡充	・移動図書館用車両の適切な維持管理を行う。 ・今後計画的に更新する必要がある、「はやとすずかけ号」更新の予算を要求する。

1. 基本情報						
事務事業名	2440 ー 図書館読書推進事業					
政策名	4. はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)		所属		国分図書館	
施策名	2. 多様な学びを支援する社会教育の充実					
基本事業名	3. 多様な学びを支援する学習環境の充実		予	会計	01	一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①市民の多様化・高度化する学習ニーズへの対応や、市民が必要としている学習情報の提供に努めます。 ②機能が充実した図書館等の周知・広報による利用促進や、幅広い年代層・学習ニーズに対応した講座の充実に努めます。 ③社会教育施設の修繕等を通じ、市民が安全・安心に利用できる学習環境の整備に努めます。		算	款	10	教育費
			科	項	06	社会教育費
			目	目	08	図書館費
			事業期間		昭和33年度～	
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)	意図(どうしたいか)	根拠法令 条例等		図書館法第3条、子どもの読書活動の推進に関する法律等	
	①②③市民	①②③ニーズに応じて学ぶことができる				

2. 事務事業の事業概要・目的・指標＜Do＞

多様な読書行事等への参加を通して、読書や学習への興味を喚起する。主に、ブックスタート、おはなし会、読書まつり等を行っている。

対象(誰に、何を対象にしているのか)		対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R5(実績)	R6(見込)	R6(実績)	R7(見込)
ア	市民	人口	人	122,442	123,101	121,379	122,830
イ				0	0	0	0
ウ				0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R5(実績)	R6(目標)	R6(実績)	R7(目標)
ア	読書に興味を持ってもらう	行事への参加者数	人	4,344	4,500	5,017	5,000
イ				0	0	0	0
ウ				0	0	0	0

3. 事業費推移		R5(決算)	R6(決算)	R7(予算)	4. 令和6年度の実績・成果
事業費(千円)		130	133	473	・第4次霧島市子ども読書活動推進計画を作成した。 ・特別なニーズのある方々のための資料を展示した「りんごの棚」を設置した。 ・国分図書館所蔵の大河字本の展示を、各図書館室で開始した。 ・インスタグラムでの広報を行った。 ・おはなし会や行事の回数、参加人数を増やすことができた。 ・ブックスタート(12回、1,362人参加)保健センターと連携し、開催した。 ・おはなし会(91回、1,151人参加) ・夏休み特別講座(4回、78人参加) ・緑陰読書(8回、212人参加) ・読書イベント(107回、2,136人参加) ・きりしま読書会(12回、78人参加) ・図書館だより等の発行(国分12回、横川6回、牧園12回、霧島12回、福山12回)
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	一般財源	130	133	473	

5. 振返り<SEE (check)>

妥当性 目的	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はある
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	***
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	***
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	***

6. 評価結果＜(Action-PLAN)＞

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和7年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	↑ 拡充	・第4次霧島市子ども読書活動推進計画に基づき、子どもの読書活動を推進していく。 ・幅広い年齢の方に参加していただけるよう、読書行事の内容や日時、実施方法等を改善する。 ・ブックスタートからその後の読書活動につながるよう、赤ちゃん絵本や、すくすくコーナー(子育て世代向け)の充実・周知を行う。
② コスト(予算)の方向性	↑ 拡充	・福祉コーナー(大活字本、朗読CD、点字、LLブック)の充実を図る。 ・広報誌やホームページ、インスタグラム等で、より多くの市民に周知する。